



洞爺湖有珠山ジオパーク

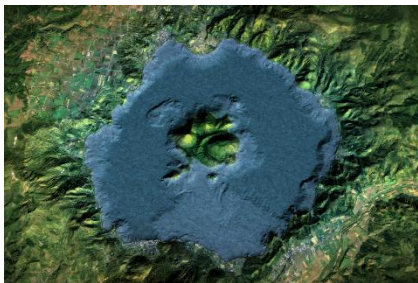
ジオパークとは、大地の特徴（海、山、湖等）を保全し、観光や教育に活かすことで地域の持続的な発展を目指す地域のことです。洞爺湖有珠山ジオパークは、伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の4市町全域がエリアで、2009年に世界ジオパークに認定されています。

今月号から、各市町での取組を順次ご紹介していきます。

～ 洞爺湖町の取り組み紹介 ～

洞爺湖有珠山ジオパークの構成市町の1つ、洞爺湖町では、火山活動と水が造った大地の成り立ちを、一次産業や教育、観光に活用するため、水中映像や空撮動画の撮影、地質調査等を行ってきました。令和5年3月、これらのデータをインターネット上で誰もが見られるよう、公開を始めました。

公開ページでは、下記動画の他、洞爺カルデラ周辺に生息する鳥や洞爺湖水中の生き物の紹介も行っていますので、ぜひご覧ください。(URL <https://toyacaldera-arch.jp/>)



CGアニメーション

『洞爺湖誕生 11万年のSTORY』

地形データを基にしたCGと、新たに撮影した空撮映像を組み合わせた動画です。洞爺湖が誕生した約11万年前から現在までの時間の旅です。

約11万年前



3DCG 短編映像

『財田扇状地』『中島』『有珠山の山体崩壊』

まるで本物の風景を見ているかのような3DCG映像で、各地点の大地の歴史を可視化しました。



実写映像

『洞爺湖水中動画』『空撮動画』

洞爺湖水中や、洞爺カルデラ上空からの眺めなど、普段見られない視点で撮影された映像を公開します。2019年に「再発見」された洞爺湖北岸の沈木映像もあります。